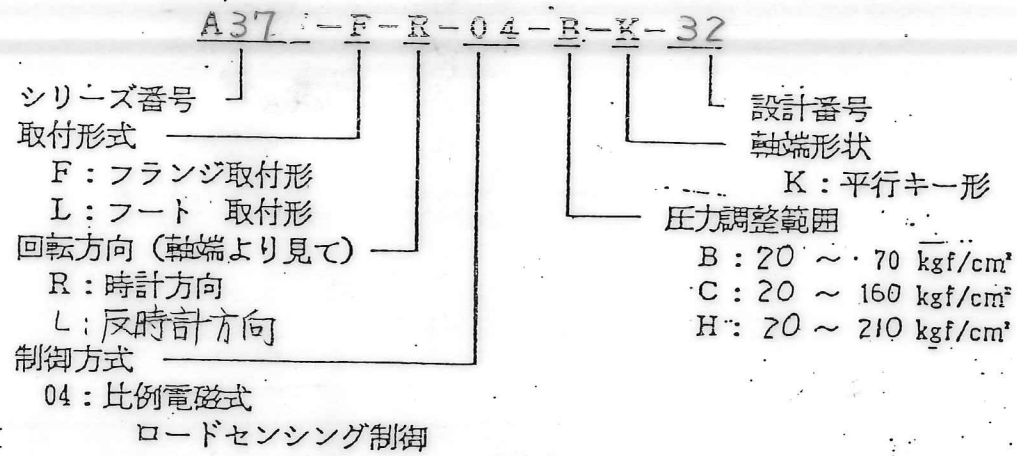






モデル番号の構成



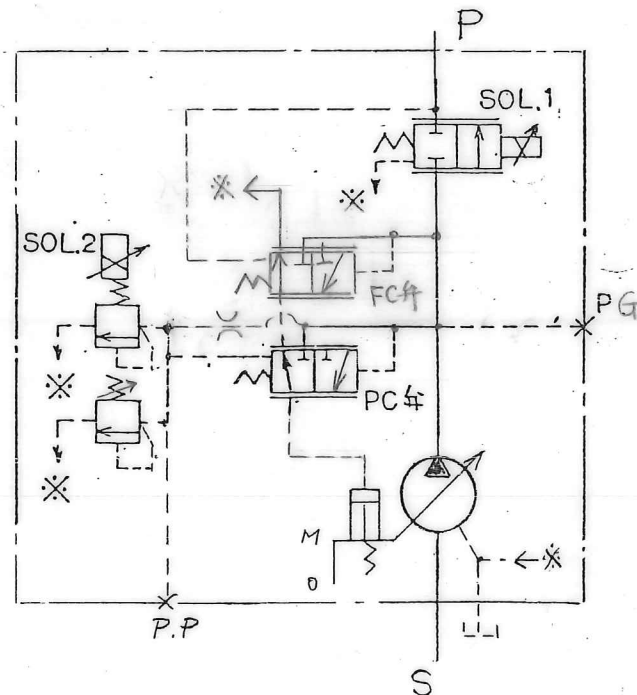
定格

理論押しのけ容積	36.9	cm <sup>3</sup> /rev.
最高使用圧力	210	kgf/cm <sup>2</sup>
定格圧力	160	kgf/cm <sup>2</sup>
回転速度範囲	600~1800	r.p.m.

使用油  
 石油系作動油  
 推奨粘度グレード ISO-VG 32~46

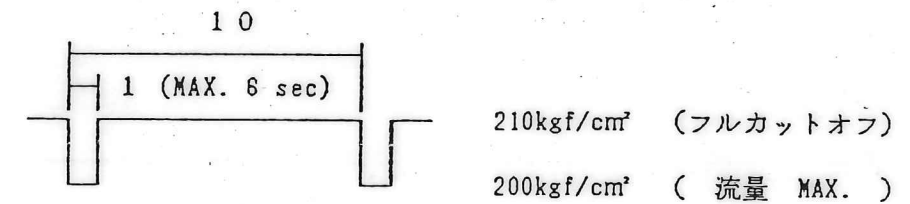
粘度範囲 20~400 cSt  
 油温範囲 0 ~ 60 °C  
 ただし、上記 粘度範囲ご注意ください。

油圧図記号



使用上の注意

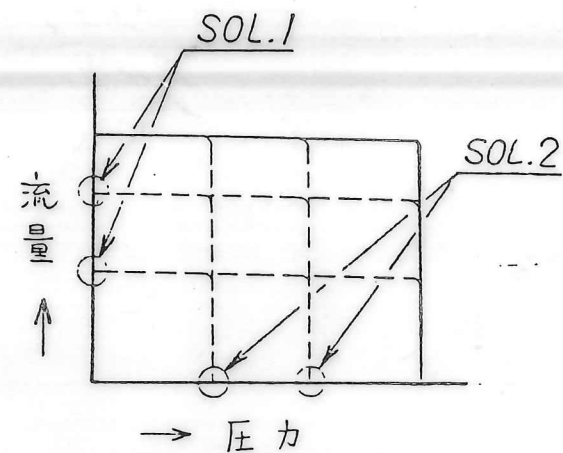
- ポンプは注油口の位置が上になるように取り付けください。軸接続の際はフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。(直接歯車やベルトで駆動しないでください。) なお、駆動軸とのズレが TIR: 0.25mm, 角度誤差 0.2° を越えないようにしてください。
- 吸込み圧力はポンプ入口にて -125mmHg ~ +0.5kgf/cm<sup>2</sup> にしてください。
- 銅管配管の場合、配管によりポンプに無理な力がかからないように注意してください。
- ドレン配管は下記を目安にして、他の戻りラインと合流せず単独で行ない、末端を必ず油中に入れてください。  
 配管継手サイズ R 1/2 (内径φ12以上)  
 配管内径 12以上  
 配管長さ 1m以下  
 上記条件を満足しない場合でもハウジング内圧力が定常状態圧力 1 kgf/cm<sup>2</sup> 以下、かつサージ圧力 5 kgf/cm<sup>2</sup> 以下になるようにしてください。
- 作動油の汚染管理には十分注意をはらい、汚染度は NAS10級以内にしてください。なお、吸込みラインには 100ミクロン (150メッシュ) のフィルタを、吐出しラインまたは戻りラインには 25ミクロン以下のフィルタをご使用ください。
- ポンプ初期運転前には必ず注油口から油圧油をハウジング内に充填してください。なお、運転開始時には吐出しラインを無負荷にしてポンプを始動し、正常に油を吸込むことを確認してください。
- ポンプ内部および管路内に空気が混入していると振動発生の原因になりますので、空気抜きは完全に行なってください。安定した圧力、流量制御を行なうために、エアVENTを緩めて空気抜きを行ない、ソレノイドカバー内に油を満たしてください。
- "SOL.1", "SOL.2" の各ケーブル取り出し口の向きは変えることができます。詳しくはEシリーズのカタログを参照してください。
- 初期調整または電氣的故障など弁に入力電流がない場合には、手動調整ねじを回すことにより臨時に圧力、流量を設定することができます。通常の場合は必ず手動調整ねじを完全に戻してください。
- 最高圧力はフルカットオフ圧力を示します。定格圧力を越えてご使用の場合は使用条件に制限があります。下図のような条件でご使用の際は最大吐出し運転時間が運転サイクルの 1/10 以内、かつ6秒以内になるようにしてください。なお、この条件は使用圧力、吐出し量 (斜板傾き角) 等により異なりますので詳しくは別途お問合せください。



11. "PP" ボートはサージカットオフ兼用パイロットポートです。

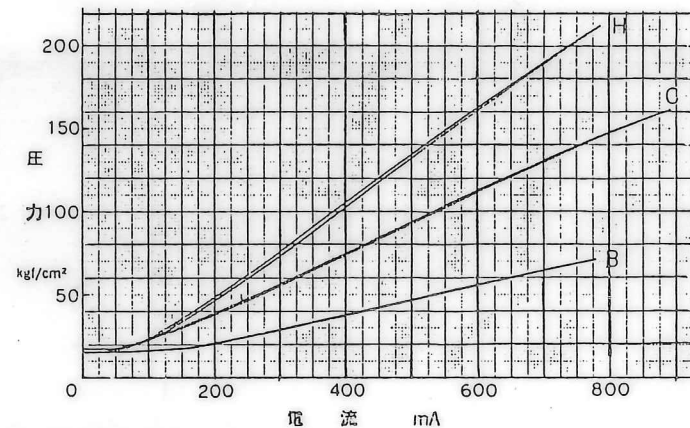
SIGN	日付 DATE	製図 DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	承認 APPROVED	検図 CHECKD	
REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		名称 NAME A37 可変容量形ピストンポンプ 比例電磁式ロードセンシング制御
	FILE NO. 1316D	図番 DWG NO. PA31/27.7.6-8-0	(3/4)

◆ 作動特性



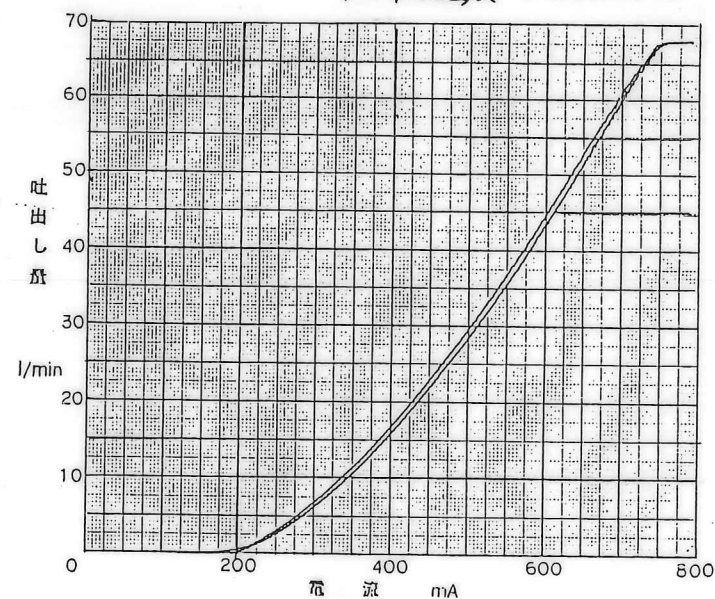
◆ 代表性能

● 電流-圧力特性 (SOL2)



● 電流-流量特性 (SOL1)

回転速度 1800rpm



項目		仕様	
理論押しわけ容積	cm <sup>3</sup> /rev	36.9	
定格使用圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	160	
最高使用圧力	★ <sub>1</sub> kgf/cm <sup>2</sup>	210	
許容回転速度範囲	r.p.m.	600~1800	
流量制御系	流量調整範囲	l/min	1~66
	流量調整可能最低圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	15
	弁差圧	kgf/cm <sup>2</sup>	3.7
	ステップ応答 sec	0→MAX斜板	0.12 (注)
		MAX→0斜板	0.15 (注)
	★ <sub>3</sub> ヒステリシス	%	3以下
	定格電流	mA	740
コイル抵抗	Ω (20℃)	10	
圧力制御系	圧力調整範囲	kgf/cm <sup>2</sup> B	20~70
		C	20~160
		H	20~210
	ステップ応答 sec	B 20→70 →20 kgf/cm <sup>2</sup>	—
		C 20→160 →20 kgf/cm <sup>2</sup>	0.050, 0.080
	★ <sub>2</sub>	H 20→210 →20 kgf/cm <sup>2</sup>	—
	★ <sub>3</sub> ヒステリシス	%	2以下
定格電流	mA B	770	
	C	880	
	H	790	
コイル抵抗	Ω (20℃)	10	
★ <sub>4</sub> パワー増幅器		AME-D2-1010-★-10	

(注) ポンプ斜板角による測定値

- ★<sub>1</sub> 圧力設定の際は、フルカットオフ圧力が最高使用圧力を超えないようにしてください。定格圧力を超えてご使用の場合には、使用条件に制限があります。  
3/4頁をご参照ください。
- ★<sub>2</sub> ステップ応答(動特性)は、回路、使用条件などにより異なります。上表に記載の数値は、右記の条件による測定例です。(負荷容量: 3/4高圧1Lホース2m)
- ★<sub>3</sub> 油研製専用パワー増幅器使用の場合の値です。
- ★<sub>4</sub> パワー増幅器の詳細については別途発行のEシリーズカタログ Pub. JC-1300-4をご参照ください。

SYM REVISIONS DATE	日付 DATE	製図 DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	承認 APPROVED	検図 CHECKD	
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION	名称 NAME	
	FILE NO. 1316D	図番 DWG NO. PA312776-8-0 (4/4)	